

# 研究業績リスト

(2006年10月1日～2007年9月30日)

## 人間基礎科学講座

教授：ハワード・N・ターノフ，館山 碧  
森田 熱  
准教授：小澤 次郎，薄井 明  
講 師：鎌田 稔子，櫻井 潤

### (1) 著 書

- 1) 小澤次郎：「[ひとりでいるよ 一羽の鳥が]における<メタファー>」，与那覇恵子編，『中沢けい』，現代女性作家読本⑩，鼎書房，40-43，2007，4.
- 2) 薄井 明編：『社会福祉士精神保健福祉士国家試験 [完全対策] 必修事項と範例問題2008』，株式会社みらい，2007，8.
- 3) 櫻井 潤：「医療保険制度の改革」，渋谷博史・安部 雅仁・櫻井潤編著，『地域と福祉と財政（増補版）』，学文社，106-116，2006，10.
- 4) 櫻井 潤：「介護保険制度の改革」，渋谷博史・安部 雅仁・櫻井潤編著，『地域と福祉と財政（増補版）』，学文社，146-155，2006，10.
- 5) 櫻井 潤：「地域病院の再編：大阪府阪南市の地域医療と阪南市立病院」，渋谷博史・水野謙二・櫻井潤編著，『地域の医療と福祉』，学文社，61-95，2007，4.

### (2) 論 文

- 1) 小澤次郎：石坂洋次郎『青い山脈』における《青》の象徴的意味—青は愛より出でて—，北海道医療大学人間基礎科学論集，32，B9-16，2006，11.

### (3) その他の論文

- 1) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Autumn Issue , 137, 64 - 65, 2006, 10.
- 2) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Winter Issue , 138, 56 - 57, 2007, 1.
- 3) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Spring Issue, 139, 54-55, 2007,

### 4.

- 4) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Summer Issue , 140, 60 - 61, 2007, 7.
- 5) 館山 碧：植物の学名，英名，和名 (14) (Cedrela-Cercidiphyllum)，北海道医療大学人間基礎科学論集，32, A37-A53, 2006, 11.
- 6) 館山 碧：植物の学名，英名，和名 (15) (Cedcidiu-Chrysanthemum)，北海道医療大学人間基礎科学論集，32, A55-A77, 2006, 11.
- 7) 森田 熱：健康づくりのための運動としての人力除雪，須田力・森田熱，寒地技術シンポジウム講演論文集，2006，10，61-70.

### (4) 学会発表

- 1) Daisuke Iyaguchi, Haruo Sekizaki, Midori Tateyama, Min Yao, Nobuhisa Watanabe, Isao Tanaka, Eiko Toyota : Crystal structure of Atlantic cod trypsin, Fifth East Asian Biophysics Symposium and Forty-Fourth Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan, 2006, 11.
- 2) 須田 力，森田 熱：豪雪地住民の人力除雪の作業能力と体力要素，雪氷学会北海道支部学会，2006，11.
- 3) 須田 力，森田 熱：大学生の除雪ボランティア参加の要因，平成18年度日本雪氷学会，2006，11.
- 4) 森田 熱，山口明彦，須田 力：女性高齢者と若年女性におけるショベル除雪時の生理的応答と作業成績，第62回日本体力医学会大会，2007，9.
- 5) 山口明彦，森田 熱：筋再生過程におけるIGF-I binding proteinsの役割，第62回日本体力医学会大会，2007，9.
- 6) 須田 力，森田 熱：豪雪地における高齢者の体力，ADL，社会的生産性，平成19年度日本雪氷学会，2007，9.
- 7) 櫻井 潤：アメリカの医療扶助と州・地方財政，日本財政学会第63回大会，2006，10.

### (5) 講 演

- 1) 森田 熱：石狩市筋力アップ教室基調講演，石狩市，2006，11.

- 2) 森田 熱：雪国の生活にかなった健康体力づくり，  
恵庭市，2006, 11.  
3) 森田 熱：足腰の強化と雪かき：当別町，2006, 11.

#### (6) 社会活動

- 1) 森田 熱：北海道医療大学生涯学習，高齢者のパワーアップ講座「脚腰弱っていませんか」，北海道医療大学サテライトキャンパス，2006, 10.  
2) 森田 熱：北海道医療大学生涯学習，高齢者のパワーアップ講座「雪かきシーズンの前に」，北海道医療大学サテライトキャンパス，2006, 10.  
3) 森田 熱：冬期の運動不足解消に向けた体力づくりの実際，岩見沢市，2006, 11.  
4) 森田 熱：石狩市筋力アップ教室（1）～（12），石狩市，2006, 11～2007, 2.  
5) 森田 熱：日本エアロビックフィットネス協会「インストラクター資格認定試験教習ワークショップ」，札幌市，2007, 9.  
6) 小澤次郎：オープンカレッジ講演「絵巻をみてみよう，よんでみよう」，北海道医療大学当別キャンパス，2007, 4.  
7) 薄井 明：北海道社会福祉士会受験対策講座，北海道社会福祉士会，2006, 12.

## 臨床福祉学科

### <保健福祉計画コース>

志渡 晃一

志水 幸

長谷川 聰

### <保健福祉臨床コース>

阿部 哲美

大友 芳恵

近藤 里美

鈴木 幸雄

花澤 佳代

横井 寿之

伊藤新一郎

### <精神保健コース>

椎谷 淳二

中川 賀嗣

向谷地生良

横山登志子

### <介護福祉コース>

石川 秀也

志水 朱

丹野 和子  
森 一美

#### (1) 著 書

- 1) 石川秀也：わが国における高齢者福祉の歴史，太田貞司編著，新版・高齢者福祉論，光生館，13－26, 2007. 2.  
2) 椎谷淳二，柏木 昭：地域における精神保健，福祉士養成講座編集委員会編，新版介護福祉士養成講座10（第4版）精神保健（執筆分担），中央法規，112－129, 2007.  
3) 椎谷淳二：精神保健福祉関係機関，福祉士養成講座編集委員会編，新版介護福祉士養成講座10（第4版）精神保健（執筆分担），中央法規，237－242, 2007.  
4) 志水 幸：人権を支える－基本的人権と社会連帯。川廷宗之・宮嶋 淳編：社会福祉入門－社会福祉をはじめて学ぶあなたに。ヘルス・システム研究所，122－129, 2007.  
5) 志水 幸（編集委員）・福祉小六法編集委員会編：福祉小六法2007年版，（株）みらい，2007.  
6) 志水 幸（編集委員）・保育福祉小六法編集委員会編：保育小六法2007年版。（株）みらい，2007.  
7) 志水 幸監修・薄井 明編：社会福祉・精神保健福祉士国家試験【完全対応】必修事項と範例問題2008【関連4科目編】，（株）みらい，2007.  
8) 志水 幸監修・坪井 真編：社会福祉・精神保健福祉士国家試験【完全対応】必修事項と範例問題2008【基礎4科目編】，（株）みらい，2007.  
9) 志水 幸監修・大澤史伸編：社会福祉士国家試験【完全対応】必修事項と範例問題2008【専門5科目編】，（株）みらい，2007.  
10) 向谷地生良：安心して絶望できる人生（NHK生活人新書），NHK出版，2006.  
11) 池瀬恵美・向谷地生良：統合失調症へのアプローチ 統合失調症，統合失調症への自己対処－仲間集団での認知行動プログラム，星和書店，65－76, 2006.  
12) 向谷地生良：鷺田清一，萩野美穂，石川准，市野川容孝編，身体をめぐるレッスン（分担執筆），もう一つの当事者研究，岩波書店，201－224, 2007.

#### (2) 論 文

- 1) 伊藤新一郎：1990年代以降における日本の福祉レジームの変容，北海道社会福祉研究第27号，2006, 12.  
2) 大友芳恵，青木 紀：一人暮らし高齢者の医療・福祉サービス利用の現状に関する研究～所得格差の視点から，高齢者問題研究，北海道高齢者問題研究

- 協, 23, 45–54, 2007, 3.
- 3) 大友芳恵：看取り介護：実践が援助者にもたらすもの－職員調査からみた教育課題. 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 北海道医療大学看護福祉学, 3 (1), 45–48, 2007, 3.
  - 4) 大友芳恵：ターミナルケア実践に求められる支援体制のあり方—A特別養護老人ホームにおける職員調査から. 介護福祉教育, 央法規出版, 13 (1), 42–47, 2007, 7.
  - 5) 志水 幸・小関久恵・嘉村 藍：島嶼地域住民の主観的健康感の関連要因に関する研究. 厚生統計協会編：厚生の指標第53巻13号, 14–19, 2006, 11.
  - 6) 宮本雅央・山下匡将・竹内夕紀子・志水 幸・志渡晃一：自己の捉え方の関連要因に関する研究. 北海道医療大学看護福祉学部学会編：北海道医療大学看護福祉学部学会誌第3巻1号, 21–28, 2007, 3.
  - 7) 山下匡将・宮本雅央・村山くみ・志水 幸：主観的健康感と社会とのかかわりに関する研究. 北海道医療大学看護福祉学部学会編：北海道医療大学看護福祉学部学会誌第3巻1号, 29–34, 2007, 3.
  - 8) 志水 幸・大月和彦・宮本雅央・山下匡将：粟島地域住民のライフスタイルに関する研究, 生活科学研究所編：生活科学研究第29集, 167–176, 2007, 3.
  - 9) 中川賀嗣：前頭側頭型痴呆. 高齢者にみられる認知障害の特徴, 老年精神医学, 17, 408–416, 2006.
  - 10) 中川賀嗣：失行. 失語・失行・失認・記憶障害－古典分類の問題点と現在の考え方, 神経内科, 2006.
  - 11) 向谷地生良：統合失調症をかかえる当事者の生きづらさをテーマにした当事者研究の実践と心理教育, 最新精神医学 Vol 11, 世論時報社, 533–540, 2006, 11.
  - 12) 向谷地生良：Schizophrenia Frontier・特集 新たな心理社会的治療の展開, 当事者研究, 8 (1), 25–28, 2007, 3.
  - 13) 横山登志子：「現場」での「経験」を通したソーシャルワーカーの主体的再構成プロセス－医療機関に勤務する精神科ソーシャルワーカーに着目して－, 社会福祉学47 (3), 29–42, 2006.
  - 14) 横山登志子：統合失調症者の「病い」の認識変化プロセスに関する質的研究－私らしさを生きるプロセス－, 精神保健福祉, 37 (4), 431–436, 2006.
  - 15) 横山登志子：精神科ソーシャルワーカーが現場での経験を通して生成する援助觀に関する研究, 同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士論文, 2007.
  - 16) 横山登志子：母子生活支援施設における2つの実践課題－先行研究の概観から－, ソーシャルワーク研究, 33 (2), 29–36, 2007.
- (3) その他の論文等
- 1) 石川秀也：講評・ユニットケア現場の実態調査, 季刊誌・高齢者ケア, p25–p37, 日総研, 2007, 11.
  - 2) 志水 幸・山下匡将・宮本雅央・小関久恵・嘉村 藍：高齢者のライフスタイルと健康に関する研究. 北海道医療大学看護福祉学部紀要第13号, 25–32, 2006, 12.
  - 3) 志水 幸・志渡晃一・竹内夕紀子・山下匡将・宮本雅央・倉橋昌司、武智春子、岩本隆茂・森若文雄：本学新入生のライフスタイルと健康感に関する研究（第6報）, 北海道医療大学看護福祉学部紀要第13号, 33–41, 2006, 12.
  - 4) 志水 朱・志水 幸：社会福祉の基本的性格に関する基礎的研究. 北海道医療大学看護福祉学部紀要第13号, 43–49, 2006, 12.
  - 5) 志渡晃一・志水 幸・宮本雅央・山下匡将・竹内夕紀子・亀山育海：大学新入学生の対人関係の基本的構えと健康に関する研究. 北海道医療大学看護福祉学部紀要第13号, 17–24, 2006, 12.
  - 6) 村山くみ・宮本雅央・山下匡将・志水 幸：島嶼地域高齢者の受診行動の関連要因に関する研究. 東北福祉大学研究紀要第31巻, 59–67, 2007, 3.
  - 7) 志水 朱・志水 幸：福祉分野の歴史編【第1回】福祉国家への途①－イギリスにおける救貧法から慈善事業・博愛事業へ, 日本総合研究所, 介護人材ぶらす3・4月号, 94–95, 2007, 3.
  - 8) 志水 幸：“実践の理論化”と“理論の検証”的土台, 日本社会福祉実践理論学会通信No73, 4–5, 2007, 4.
  - 9) 志水 朱・志水 幸：福祉分野の歴史編【第2回】福祉国家への途②－イギリスの貧困調査からベヴァリッジ報告まで, 日本総合研究所, 介護人材ぶらす5・6月号, 114–115, 2007.
  - 10) 志水 朱・志水 幸：福祉分野の歴史編【第3回】アメリカの社会福祉①－ソーシャルワークの源流, 日本総合研究所, 介護人材ぶらす7・8月号, 130–131, 2007, 7.
  - 11) 志水 朱・志水 幸：福祉分野の歴史編【第4回】アメリカの社会福祉②－ソーシャルワークの共通基盤, 日本総合研究所, 介護人材ぶらす9・10月号, 130–131, 2007, 9.
  - 12) 向谷地生良：非援助という援助, アディクションと家族Vol 23, 日本嗜癖行動学会, 43–50 (対談), 2006, 5.
  - 13) 向谷地生良：アウトリーチサービスの魅力, 精神医

- 療、批評社、8-29(座談会), 2, 006, 7.
- 14) 中川賀嗣：平成18年度文部科学省学術フロンティア推進事業研究成果報告書, 2007.
- (4) 学会発表
- 1) 伊藤新一郎：ポスト工業社会と福祉レジーム～リスクの変容とリスク管理の多様化～, 日本社会福祉学会第54回全国大会(立教大学)自由研究発表, 2006, 10.
  - 2) 伊藤新一郎：1990年代以降における日本の福祉レジームの変容, 北海道社会福祉学会第45回大会, 自由研究発表, 2007, 2.
  - 3) 伊藤新一郎：1990年代以降における日本型福祉の変容～福祉レジームの視点から～, 日本社会福祉学会第55回全国大会(大阪市立大学)自由研究発表, 2007, 9.
  - 4) 大友芳恵：ターミナルケア実践に求められる支援体制のあり方～A特別養護老人ホームにおける職員調査から, 第13回日本介護福祉教育学会, 佐賀, 2007, 1.
  - 5) 大友芳恵：ターミナルケア実践に求められる支援体制のあり方<第2報>～Aホーム職員精神健康管理調査を中心に～, 第14回日本介護福祉教育学会, 帯広市, 2007, 8.
  - 6) 大友芳恵：一人暮らし高齢者の医療・福祉サービス利用の現状に関する研究～所得格差の視点から～, 第55回日本社会福祉学会, 大阪市, 2007, 9.
  - 7) Yuri Goto, Junji Shiiya : Assessing the factors related to exercise behavior of college students. 17<sup>th</sup> Annual Art & Science of Health Promotion Conference, San Francisco, 2007 (3).
  - 8) 志水 幸・宮本雅央・山下匡将・小関久恵・嘉村 藍：高齢者のライフスタイルと健康に関する研究. 日本社会福祉学会第54回全国大会, 2006, 10.
  - 9) 宮本雅央・山下匡将・小関久恵・嘉村 藍・志水 幸：島嶼地域高齢者の生活満足度の関連要因に関する研究. 日本社会福祉学会第54回全国大会. 2006, 10.
  - 10) 山下匡将・宮本雅央・竹内夕紀子・小関久恵・亀山 育海・志水 幸・志渡晃一：新入学生における自覚的健康感とライフスタイルに関する研究. 日本社会福祉学会第54回全国大会. 2006, 10.
  - 11) 宮本雅央・村山くみ・小関久恵・嘉村 藍・山下匡将・志水 幸：島嶼地域高齢者の受診行動の関連要因に関する研究. 第65回日本公衆衛生学会総会. 2006, 10.
  - 12) 山下匡将・村山くみ・小関久恵・嘉村 藍・宮本雅央・志水 幸：島嶼地域高齢者の自覚的健康感の関連要因に関する研究. 第65回日本公衆衛生学会総会. 2006年10月.
  - 13) 山下匡将・志水 幸・大月和彦・坪井 真・村山くみ・川廷宗之：社会福祉教育研究の課題に関する基礎的研究(1)－日本社会福祉学会における社会福祉教育関連研究の変遷を中心に. 第2回日本社会福祉教育学会全国大会. 2006, 11.
  - 14) 大月和彦・志水 幸・山下匡将・坪井 真・村山くみ・川廷宗之：社会福祉教育研究の課題に関する基礎的研究(2)－社会福祉教育研究の準拠枠を中心に. 第2回日本社会福祉教育学会全国大会. 2006, 11.
  - 15) 川廷宗之・坪井 真・志水 幸・佐々木宰：授業に先立って学生へのアセスメントをどう行うか. 大学教育学会第29回大会. 2007, 9.
  - 16) 古川奨・志水 幸・志渡晃一：精神障害者の社会適応状態の関連要因に関する研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 17) 宮本雅央・志水 幸・志渡晃一：一般企業における障害者雇用促進に関する研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 18) 山下匡将・村山くみ・宮本雅央・小関久恵・嘉村 藍・竹内夕紀子・古川 奨・大月和彦・志水 幸：高齢者の楽観性に関する研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 19) 村山くみ・古川 奨・竹内夕紀子・宮本雅央・山下匡将・小関久恵・嘉村 藍・大月和彦・志水 幸：島嶼地域高齢者のライフスタイルと主観的健康感に関する研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 20) 小関久恵・嘉村 藍・竹内夕紀子・古川 奨・山下匡将・宮本雅央・村山くみ・大月和彦・志水 幸：島嶼地域高齢者の医療受診行動に関する要因の研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 21) 大月和彦・山下匡将・坪井 真・志水 幸・川廷宗之：新入学生の生活体験および学習活動と学生生活に関する研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 22) 志水 幸・志水 朱：社会福祉概念の基本的性格に関する基礎的研究. 日本社会福祉学会第55回全国大会. 2007, 9.
  - 23) 向谷地生良、伊藤絵美：「浦河べてるの家」を研究する(1)「当事者研究」と認知行動療法の接点, 日本心理学会, 2006, 11.
  - 24) 向谷地生良：認知行動療法ワークショップー当事者研究, 日本精神障害リハビリテーション学

- 会, 2007, 11.
- 25) 横山登志子：ソーシャルワーカー／ソーシャルワーカーと感情－「シグナル機能」に着目して－, 日本社会福祉学会第55回全国大会, 2007, 9.
- (5) 講演
- 1) 石川秀也：高齢者虐待の防止, 北海道, 高齢者虐待シンポジウム, 2006. 11. 3.
  - 2) 石川秀也：社会福祉実習と個人情報保護, 北海道ブロック社会福祉実習研究協議会, 北海道社会福祉実習研究協議会, 2006. 11. 10.
  - 3) 石川秀也：高齢者虐待と権利擁護, オホーツク社会福祉士会, 権利擁護セミナー, 2006. 11. 18.
  - 4) 石川秀也：高齢者虐待の防止と対応, 当別町, 当別町地域ケア会議, 2006. 11. 21.
  - 5) 石川秀也：防ごう！高齢者虐待, 石狩市, 石狩市民向け講演会, 2006. 11. 25.
  - 6) 石川秀也：福祉サービスに求められる質の転換, 福祉サービス評価機構Kネット, オンブズマン養成講座, 2006. 11. 25.
  - 7) 石川秀也：権利擁護と専門職の役割, 南空知リハビリテーション推進会議, 推進会議研修会, 2007. 3. 10.
  - 8) 石川秀也：ユニットケアの功罪, 石狩管内老人福祉施設協議会, 石狩管内老人福祉施設長研修会, 2007. 4. 20.
  - 9) 石川秀也：社会福祉の資格と仕事, 高大連携地域講座, 2007. 5. 31.
  - 10) 石川秀也：高齢者虐待, 認知症ケア学会, 第1回地域部会研修会, 2007. 5. 27.
  - 11) 石川秀也：高齢者福祉施設におけるリスクマネジメント, 札幌市社会福祉協議会, リスクマネジメント講座, 2007. 8. 30.
  - 12) 石川秀也：高齢者の権利擁護, 日本弁護士連合会他, 障害者・高齢者の権利擁護セミナー, 2007. 9. 14.
  - 13) 大友芳恵：実習前評価システムのありかた：実習の獲得目標と実習生必要要件及びその評価システム, 2006年度全国日本社会福祉教育セミナー, 京都市, 2006, 11.
  - 14) 近藤里美：音楽療法の可能性～ホスピス・緩和ケアでのアプローチ～, 第5回熊本トータルケア研究会, 熊本, 2007, 4, 13.
  - 15) 近藤里美：音楽はエネルギー・システムである, 鹿児島音楽療法研究会講習会, 鹿児島, 2007, 4, 14.
  - 16) 近藤里美・Ruth Roberts：臨床との対話, 第7回日本音楽療法学会講習会
  - 17) 志水 幸：初年次教育の達成課題とは何か…基礎知識の補完と学習方法の習得－大学学部生としての開発的な学習方法の習得を含む専門教育段階からの提案. 日本社会福祉教育学校連盟・日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会共催：2006年度全国社会福祉教育セミナー. 2006年11月. 第1分科会：発題者
  - 18) 志水 幸：ソーシャルワーク教育のreadinessを問う. 日本社会福祉実践理論学会第24回大会. 2007年6月. 自主企画シンポジウム：コーディネーター.
  - 19) 志水 幸：社会福祉行政論, 北海道社会福祉協議会・社会福祉主事資格認定講習会, 2007, 6.
  - 20) 志水 幸：これから社会福祉士に求められる社会的使命, 日本福祉学院第1回社会福祉士科交流会(卒業生と在学生との集い－記念講演), 2007, 9.
  - 21) 志水 朱：介護福祉士養成校教員資格取得のための介護教員講習会. 介護福祉士養成校協会. 2007年1月. 講師.
  - 22) 中川賀嗣：ところかわれば、景色もかわるーかわったものを一緒に探してみませんか第3回まちの森で語ろう会, 当別, 2006. 10. 6.
  - 23) 中川賀嗣：神経難病療養における患者, 介護者, 医療従事者のメンタルヘルスケアについて, 平成18年度政策医療ネットワーク, 札幌, 2007, 2, 24.
  - 24) 中川賀嗣：失行の実践的みかた, 捉え方, 第19回三奈大脑高次機能懇話会, 松坂, 2007, 3, 3.
  - 25) 中川賀嗣：神経心理の考え方, 第4回北海道神経心理懇話会, 札幌, 2007, 7, 16.
  - 26) 中川賀嗣：失行について. 講習会. 第12回日本認知神経科会学術大会, 福岡, 2007, 7, 21.
  - 27) 向谷地生良：精神障害者の地域生活支援, 厚生労働省主催, 精神保健指定医、精神保健指定医研修, 2007, 7, 22.
  - 28) 向谷地生良：精神科救急における精神障害者の回復のイメージは－北海道浦河におけるべてるの家を中心とした生活支援体制, 第14回精神科救急学会, ワークショップ講演, 2006, 10, 17.
  - 29) 向谷地生良：正体不明の声, 福島県立医大精神神経科学教室主催ワークショップⅡ講演, 2006, 11, 11.
  - 30) 横山登志子：相談援助における質問技法, 札幌市母子・婦人相談員等研修会, 2007, 2.
  - 31) 横山登志子：社会福祉援助技術, 札幌市子ども家庭福祉担当職員研修, 2007, 7.
- (6) 社会活動
- 1) 石川秀也：北海道地域福祉学会理事  
北海道地域福祉生活支援センター契約締

- 結審査会委員長（北海道社会福祉協議会）  
 北海道身体拘束ゼロ作戦推進会議委員（北海道保健福祉部介護保険課）  
 全国老人福祉施設協議会・老施協総研究員  
 特定非営利活動法人「福祉オンブズマンほっかいどう」理事  
 北海道高齢者虐待防止のためのマニュアル等作成委員会委員（北海道保健福祉部高齢者保健福祉課）  
 社会福祉法人「えぼっく」理事長  
 北海道福祉サービス第三者評価推進機構・第三者評価基準等委員会委員  
 北海道高齢者虐待防止推進委員会委員長（北海道・北海道社会福祉協議会）
- 2) 丹野和子：介護概論、高齢者・障害者の心理、札幌市社会福祉協議会、一般市民地域ボランティアアップ研修会、札幌市ボランティア研修センター、2006, 11, 7.
- 3) 丹野和子：学生指導（実習指導方法）、日本介護福祉士養成施設協会北海道支部介護福祉養成校教員講習会、北方圏学術情報センター、2007, 1, 18-19.
- 4) 丹野和子：介護福祉士国家試験（実技試験受験生実地試験委員財団法人社会福祉振興・試験センター、札幌大谷女子高等学校、2007, 3, 3-4.
- 5) 丹野和子：これからボランティア活動～地域における介護の視点から～、札幌市社会福祉協議会、拓北・あいの里地区福祉のまち推進センター出張研修会、札幌市北区拓北・あいの里地区センター、2007, 6, 25.
- 6) 丹野和子：介護概論、高齢者・障害者の心理、札幌市社会福祉協議会、一般市民地域ボランティアアップ研修会、札幌市ボランティア研修センター、2007, 7, 18.
- 7) 近藤里美：音楽療法は人を癒す、高校生のための社会福祉セミナー、北海道医療大学、2006, 10, 26.
- 8) 近藤里美：音楽療法ってどんなもの、立命館慶祥高校模擬講義、札幌、2006, 11, 2.
- 10) 近藤里美：音楽療法について、AirGメディカル・コロンブス、2007, 1.
- 11) 近藤里美：音楽療法について学ぶ、立命館慶祥高校模擬講義、札幌、2007, 5, 12.
- 12) 近藤里美：音楽の源は私たちの中にある、高校生のための社会福祉セミナー、北海道医療大学、2007, 9, 22.
- 13) 近藤里美：音楽でこころと体のリラクゼーション、

江別市コミュニティーセンター、北海道医療大学生涯学習講座、江別、2007, 9, 27.

- 14) 横山登志子：面接技法のスキルアップ、北海道医療ソーシャルワーカー協会札幌中央D支部研修会、2007, 1.
- 15) 横山登志子：面接技法（マイクロカウンセリング）、北海道医療ソーシャルワーカー協会札幌中央A支部4～6年目グループ研修、2007, 7.
- 16) 横山登志子：精神医療の現場で経験されるソーシャルワーカーの援助観形成プロセスに関する研究（データ提供）、実践的グラウンデッド・セオリー・アプローチ研究会公開研究会、2007, 9.

## 看護学科

### 生命基礎科学講座

教授：倉橋 昌司、佐々木重幸、細川眞澄男、西 基

#### (1) 著書

- 1) 高橋茂樹、豊澤隆弘、西 基：STEP公衆衛生第9版。東京、海馬書房、2006.
- 2) 西 基、豊澤隆弘：保健師国家試験のためのスキルアップ・ブック 2007年度版。東京、海馬書房、2007.
- 3) 西 基：柔道整復用語辞典第2版。東京、海馬書房、2007.

#### (2) 論文

- 1) Okada F, Tazawa H, Kobayashi T, Kobayashi M and Hosokawa M : Involvement of reactive nitrogen oxides for acquisition of metastatic properties of benign tumors in a model of inflammation-based tumor progression. Nitric Oxide 14 : 122-129, 2006.
- 2) Okada F, Shionoya H, Kobayashi M, Kobayashi T, Onuma K, Iuchi N, Matsubara N, Ijichi T, Dugas B and Hosokawa M : Prevention of inflammation-mediated acquisition of metastatic properties of benign mouse fibrosarcoma cells by administration of an orally available superoxide dismutase. Br J Cancer 94 : 854-862, 2006.
- 3) Yoshiro Matsui, Shinichiro Shimura, Yukio Suto, Shigeyuki Sasaki : Occluding the Junction of the Middle Cardiac Vein in Retrograde Cardioplegia : A New

- Retrograde Cannula for Optimizing Retrograde Cardioplegic Delivery. *Surgery Today* 37: 89–92, 2007
- 4) Akihito Watanabe, Masao Hosokawa, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Shigeyuki Sasaki : Head and neck cancer associated with esophageal cancer. *Auris Nasus Larynx* 34 : 207–211, 2007
- 5) Junichiro Takahashi, Yutaka Wakamatsu, Jun Okude, Toshihiro Gohda, Youichi Sanefuji, Shigeyuki Sasaki\*, Yoshiro Matsui : Septal myectomy, papillary muscles resection and mitral valve replacement for hypertrophic obstructive cardiomyopathy – Report of a case– *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery* (in press)
- 6) Junichiro Takahashi, Yutaka Wakamatsu, Jun Okude, Toshihiro Gohda, Youichi Sanefuji, Shigeyuki Sasaki\*, Yoshiro Matsui : I diopathic retroperitoneal fibrosis in a patient suspected of impending rupture of the abdominal aortic aneurysm *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery* (inpress)
- 7) 西 基, 三宅浩次 : 北海道における他殺の疫学. 厚生の指標 2006, 53 : 21–25.
- 8) 松浦智和, 西 基, 三宅浩次 : 島嶼地域高齢者の主観的健康感とその関連要因, 北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌, 2006 ; 2 : 45–53.
- 9) 森田美智子, 西 基 : 勤労者における睡眠時間と抑鬱状態の程度. 北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌, 2006 ; 2 : 103–104.
- 10) 山岡久美子, 斎藤いずみ, 西 基 : 分娩の曜日・時刻からみた周産期医療の問題点と課題. 母性衛生 2006 ; 47 : 412–420.
- 11) 西 基, 松下悠里子, 松久佑美 : 週休1日制と週休2日制の労働者の健康状態, 北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌, 2007 ; 3 : 41–43.
- 12) 西 基, 三宅浩次 : 無職世帯における乳児死亡・周産期死亡・死産, 厚生の指標 2007 ; 54 : 34–38.
- 13) 西 基, ダニエル・サジェ, リカルド・ハウプト : 日本・フランス・イタリアの神経芽腫死亡率の変化, 日マスク誌 2007, 17 : 37–41.

### (3) その他の論文

- 1) 志水 幸, 志渡晃一, 竹内夕紀子, 山下 匡, 宮本 雅央, 倉橋昌司, 樋口孝城, 武智春子, 岩本隆茂, 森若文雄 : 本学新入生におけるライフスタイルと健康感に関する研究(第6報) 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 13, 33–41, 2006, 12.
- 2) 倉橋昌司 : 食行動と肥満発症における唾液分泌の役割, 平成17年度～18年度科学研究補助金研究成果報

告書, 2007, 6.

- 3) 西 基 : 次世代生産の視点から見た神経芽腫マス・スクリーニング, 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業), 登録症例に基づく神経芽細胞腫マススクリーニングの効果判定と医療体制の確立. 平成16年度～18年度 総合研究報告書 平成19年3月 P143–145.
- 4) 花井潤師, 福士 勝, 藤田晃三, 西 基, 飯塚 進, 内藤春彦 : 札幌市における神経芽腫スクリーニング. 1歳2か月の成績と1歳6か月スクリーニングへの移行, 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)登録症例に基づく神経芽細胞腫マススクリーニングの効果判定と医療体制の確立. 平成16年度～18年度 総合研究報告書 平成19年3月 P139–141.

### (4) 学会発表

- 1) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Shigeyuki Sasaki : Larynx-preserving surgery for cervical esophageal cancer, 13th Congress of the European Society of Surgical Oncology 2006, Venetia, Italy (06/11/30)
- 2) 岡田 太, 小沼那重, 田中宏樹, 田澤 大, 小林正伸, 細川眞澄男 : 発癌・悪性化要因としての炎症細胞由来活性酸素の証明, 第65回日本癌学会学術総会, 横浜, 9. 28–30, 2006.
- 3) Nishi M, Satgé D, Haupt R. : Mortality of neuroblastoma in Japan, France and Italy. 6th Meeting of the International Society for Neonatal Screening. Awaji, Hyogo & Tokushima, Japan. Sep 16–19 2006.
- 4) 西 基, 福士 勝, 藤田晃三, 花井潤師, 飯塚 進, 内藤春彦, 一宮久恵, 田中稔泰 : 次世代生産の視点から見た神経芽腫マス・スクリーニング, 第22回日本小児がん学会 2006年11月24日 大阪市.
- 5) 西 基 : 次世代生産の視点から見た神経芽腫マス・スクリーニング, 第34回日本マス・スクリーニング学会 2007年9月9日 千葉市.

### (5) 講 演

- 1) 細川眞澄男 : ガンの基礎知識—ガンの病態を理解するための一, 北海道医療大学専門薬剤師養成基礎講座, 2007年5月.
- 2) 西 基 : 第1回ヘルスアップ2006講演会, 遠別町 2006年10月26日「子どもの健康」.
- 3) 西 基 : 「恵庭の食育を考える」 第3回講演会 恵庭市 2006年12月5日「医学から見た子どもの食育」.

- 4) 西 基：平成18年度札幌市学校給食栄養士会研修会，札幌市西区 2007年3月5日，「栄養調査のためのヒント」。
- 5) 西 基：平成19年度札幌市放火防止対策推進会議，札幌市中央区 2007年7月13日，「社会病理としての放火」
- 6) 西 基：日本マス・スクリーニング学会，第29回技術部会 千葉市 2007年9月9日，「神経芽腫マス・スクリーニングの最近の話題」。

#### (6) 社会活動

- 1) 西 基：札幌市衛生研究所 新生児マス・スクリーニング コンサルタント
- 2) 西 基：北海道健康づくり財団 健康アカデミア専門部会第2部会専門委員
- 3) 西 基：日本マス・スクリーニング学会 評議員

## 実践基礎看護学講座

教 授：花岡 真佐子，平 典子

講 師：伊藤 祐紀子

助 教：明野 伸次，鹿内 あずさ，中島 幸子

#### (2) 論 文

- 1) 平 典子：終末期がん患者を看取る家族が活用する折り合い方法の検討. 日本がん看護学会誌, 21 (1), 40-47, 2007.

#### (3) その他の論文

- 1) 明野伸次，平 典子，鹿内あずさ，伊藤祐紀子，花岡真佐子：看護技術における行為の構造化（第3報）－血圧測定における原則の観点から－，北海道医療大学看護福祉学部学会，3 (1), 53 - 59, 2007.
- 2) 鹿内あずさ，伊藤祐紀子，明野伸次，平 典子，花岡真佐子：看護技術における行為の構造化（第4報）－ガウンチェンジにおける原則の観点から－，北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 3 (1), 61 - 67, 2007.

#### (4) 学会発表

- 1) 明野伸次，平 典子，鹿内あずさ，伊藤祐紀子，花岡真佐子：看護技術における行為の構造化（第3報）－血圧測定における原則の観点から－，第26回日本看護科学学会学術集会，神戸市, 2006, 12.
- 2) 鹿内あずさ，伊藤祐紀子，明野伸次，平 典子，花

岡真佐子：看護技術における行為の構造化（第4報）－ガウンチェンジにおける原則の観点から－，第26回看護科学学会学術集会，神戸市, 2006, 12.

- 3) 河野總子，鹿内あずさ，照井レナ，亀山育海：病院・訪問看護ステーションに勤務する看護師の雇用形態別キャリア・アンカー，北海道医療大学看護福祉学部学会第4回学術大会，札幌市, 2007, 9.

#### (5) 講 演

- 1) 花岡真佐子：ヴァージニア・ヘンダーソンの看護理論，旭川厚生病院看護部研修，旭川市, 2006, 11.
- 2) 花岡真佐子：北海道医療大学看護福祉学部の教育方針と臨地実習に期待すること，北海道大学病院看護部研修，札幌市, 2007, 5.
- 3) 平 典子：「家族ケア」，青森県がん専門看護研修会講師，青森市, 2006, 10.
- 4) 平 典子：「事例を研究的視点でまとめるとは」 北海道大学病院看護部3年目研修，札幌市, 2007, 8.

#### (6) 社会活動

- 1) 平 典子：北海道看護協会 看護管理者研修「セカンドレベル」講師，札幌市, 2006, 10.
- 2) 伊藤祐紀子：平成19年度北海道看護協会 臨床における看護教育の取り組みI（質的研究基礎・事例研究）研修会 助言，札幌市, 2007, 8.
- 3) 明野伸次：第17回オープンカレッジin北海道医療大学「バイキンをやっつけよう」講師，当別町, 2007, 4.

## 地域保健看護学講座

### (老年看護学)

准教授：井出 訓，山田 律子

講 師：萩野 悅子

助 教：内ヶ島伸也

### (地域看護学)

准教授：工藤 稔子

講 師：桑原 ゆみ，竹生 礼子

助 教：長島 聖子

### (精神看護学)

教 授：阿保 順子

准教授：佐久間えりか

講 師：笹木 弘美

助 教：吉野加寿美，近田真美子

## (老年看護学)

### (1) 著書

- 1) 山田律子：IV-2. 認知症高齢者の生活環境づくり，中島紀恵子（責任編集）：認知症高齢者の看護，医薬出版，79-99，2007，5。
- 2) 山田律子：第6章豊かな食生活を支える，渡辺裕子（監修）：家族看護学を基盤とした在宅看護論Ⅱ実践編 第2版，日本看護協会出版会，151-172，2007，3。

### (2) 論文

- 1) 井出訓，木村靖子，杉田隆介，森伸幸：地域介護支援センターにおける介護予防事業としての、高齢者記憶トレーニング・プログラム（物忘れ予防教室）のこころみ，北海道医療大学看護福祉学部紀要，第13号，59-63，2006。
- 2) 森伸幸，井出訓，金城光：成人を対象としたメタ記憶測定尺度の開発 MIA（Metamemory in Adulthood Questionnaire）日本語版作成の試み，北海道医療大学心理科学部学部紀要，第2号，1-6，2006。
- 3) 内ヶ島伸也：認知症高齢者の日常生活ケアに関する意思決定能力とその関連要因，北海道医療大学看護福祉学研究科修士論文，2007。

### (3) その他の論文

- 1) 井出訓：オックスフォードの認知症ケア，日本認知症ケア学会誌，5(3)，540-547，2006，11。
- 2) 土田孝行，山田律子：北海道における訪問看護の現状と今後の地域看護のあり方について—地域における訪問看護の実践事例より在宅療養者のトータルケアを考える，月刊総合ケア，17(4)，22-30，2007，4。
- 3) 山田律子：認知症ケアに従事する看護補助者を対象とした摂食介助スキル教育の効果，日本認知症ケア学会誌，6(1)，110-115，2007，3。
- 4) 山田律子，石垣和子，山本則子：栄養管理，老人訪問看護の質評価指標の開発—ベストプラクティスに基づく評価項目策定及び標準化，平成16~18年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書（課題番号：16390647），23-28，151-156，175-178，2007，3。
- 5) 萩野悦子：QOLを考慮したパーキンソン病の看護のポイント，臨床老年看護，14(2)，4-11，2007，4。

### (4) 学会発表

- 1) 井出訓：第49回日本老年社会学会大会シンポジウム，介護予防としての「物忘れ予防教室」の実践から高齢者支援を考える，シンポジスト，2007，6。
- 2) 山本則子，石垣和子，金川克子，正木治恵，鈴木みづえ，山田律子他：高齢者訪問看護の質評価指標開発：全国の訪問看護ステーションを対象とした実態調査，日本看護科学学会第26回学術集会，東京，2006，12。
- 3) 山田律子，石垣和子，山本則子：在宅高齢者の低栄養の早期発見および予防・改善に向けた訪問看護の質評価指標の開発，日本老年看護学会第11回学術集会，東京，2006，11。

### (5) 講演

- 1) 井出訓：札幌市民カレッジ「もの忘れ予防レッスン」講師，札幌，2007，1。
- 2) 井出訓：月寒公民館創造学園講演講師，札幌，2007，2。
- 3) 井出訓：グループホームフォローアップ研修会講師，札幌，2007，2。
- 4) 井出訓：NHK健康講座講師，札幌，2007，2。
- 5) 井出訓：認知症地域対応講座講師，札幌，2007，3。
- 6) 井出訓：札幌市民カレッジ「もの忘れ予防レッスン」講師，札幌，2007，5。
- 7) 井出訓：千歳市高齢者大学講演講師，千歳，2007，5。
- 8) 井出訓：認知症ケア学会研修会講師，札幌，2007，7。
- 9) 井出訓：札幌市北区健康フェア講師，札幌，2007，9。
- 10) 萩野悦子：日本認知症ケア学会特別重点課題「アセスメントとケアプラン作成指針に向けて」ワークショップ，認知症をもつ人に対するアセスメントの整理に向けて；看護の視点と現在用いられているツールのアセスメント領域の検討，東京，2006，10。

### (6) 社会活動

- 1) 井出訓：認知症100万人サポーターキャラバン，キャラバンメイト，2007。
- 2) 井出訓：地域密着型サービス外部評価調査員，2006，10~2007，9。
- 3) 井出訓：北海道介護予防市町村支援委員会委員，2007。
- 4) 山田律子：平成19年度当別町介護認定審査会委員，当別町。

- 5) 山田律子：平成19年度当別町障害程度区分認定審査会委員，当別町。
- 6) 山田律子：第3回日本認知症ケア専門士第2次試験面接員，札幌，2007，9。
- 7) 山田律子：平成19年度北海道看護協会 臨床における看護研究の取り組みⅡ研修会「調査研究」講師，札幌，2007，8。
- 8) 山田律子：平成19年度日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師講師，東京，2007，8。
- 9) 山田律子：平成19年度医療法人済仁会西円山病院看護部研修「看護研究の進め方」講師，札幌，2007，6。
- 10) 萩野悦子：平成19年度看護教員養成講習会「研究方法」講師，札幌，2007，6。
- 11) 内ヶ島伸也：薬剤師研修調剤セミナー（株）ツルハ主催)「在宅ケアにおける薬剤師の役割—排泄障害をもつ高齢者を中心として—」講師，仙台，2006，11。

#### （地域看護学）

##### （1）著書

- 1) 工藤禎子：地域看護アセスメントと評価の実際（高齢者保健活動の実践例），佐伯和子編著「地域看護アセスメントガイド」医歯薬出版株式会社，84－93，2007

##### （2）論文

- 1) 工藤禎子，川添恵理子，竹生礼子，長嶋聖子，桑原ゆみ：都市部と都市近郊別にみた要支援・要介護状態の高齢者における引越後の生活満足感，北海道医療大学看護福祉学部紀要，No. 13, 11-16, 2006.
- 2) 桑原ゆみ：糖尿病患者会が糖尿病者におよぼす効果の基礎的検討—患者会入会者と非入会者の2年間の比較からー，日本保健医療行動科学会年報，22, 162-167, 2007.

##### （4）学会発表

- 1) 工藤禎子：引越した高齢者が感じている身体の変化と引越後の生活に対する思い，第49回日本老年社会科学学会，札幌，老年社会科学，29（2），報告要旨号，p276, 2007, 7.
- 2) Yumi Kuwabara : Evaluation of a Physical Exercise and Nutritional Intervention Program for Community-Dwelling People, 17th Annual Art and Science of Health Promotion Conference, San Francisco, 2007. 3.
- 3) 竹生礼子，川村三希子，小島悦子，福田ひとみ，柳谷幸枝：訪問看護師に対する効果的ながん疼痛マネジメントの教育プログラムの検討；実践に役立てら

れるよう検討した講義の評価，第12回日本緩和医療学会総会，岡山，2007. 6.

- 4) 竹生礼子：入院中の高齢がん患者が自宅で療養するために必要だと考えていること，第17回日本看護研究学会北海道地方会学術集会，札幌，2007. 6.
- 5) 長嶋聖子：ダウン症乳児の父親が果たしている役割，第17回日本看護研究学会北海道地方会学術集会，札幌，2007. 6.
- 6) 長嶋聖子：ダウン症乳児の母親が父親に期待する役割，第10回日本地域看護学会学術集会，神奈川，2007. 7.

##### （6）社会活動

- 1) 工藤禎子，三国久美，桑原ゆみ：平成18年度江別保健所管内保健師研修，「保健事業の評価の方法」，2007，2.
- 2) 工藤禎子：北海道保健福祉部看護対策グループ主催，保健師の活動強化に関する研修会講師，「研究の意義と進め方」，2007，7.
- 3) 桑原ゆみ：平成18年度町立長沼病院看護部「看護研究研修」発表会助言者，長沼町，2006，11.
- 4) 桑原ゆみ：北海道保健福祉部看護対策グループ主催，「平成18年度保健福祉事務所保健師の活動強化に関する研修会—保健師活動からの実践的研究—研究発表会」助言者，2007，3.
- 5) 桑原ゆみ：平成19年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川市，2007，8-9.
- 6) 桑原ゆみ：北海道看護協会主催，「保健師のためのキャリアアップ研修会—効果的な保健活動ー」講師，「生活習慣病予防の効果的な保健活動・演習」，2007，8.
- 7) 桑原ゆみ：当別町健康づくり行動計画推進協議会委員，当別町，2006，2. ~現在.
- 8) 桑原ゆみ：当別町国民健康保険運営協議会委員，当別町，2006，10. ~現在.
- 9) 竹生礼子：第4回当別町地域ケア会議，介護予防専門部会，「あらためて自立支援・介護予防について考える」講師，当別町，2007，7.
- 10) 竹生礼子：北海道看護協会主催，「臨床における看護研究の取り組みⅡ（調査研究）」研修会グループワーク助言，札幌，2007，8.
- 11) 長嶋聖子：北海道医療大学看護福祉学部学会第4回学術大会，シンポジウム，「現場経験とネットワーク化」司会，札幌市，2007，9.
- 12) 工藤禎子：当別町地域包括支援センター運営協議会委員
- 13) 工藤禎子：江別市福祉審議会委員

(精神看護学)

(1) 著 書

- 1) 阿保順子, 犬飼直子編著: 人格障害のカルテー実践  
編 批評社 2007年2月
- 2) ジュディスM. シュルツ, シエイラLヴィベック  
著, 田崎博一, 阿保順子, 佐久間えりか監訳, 田崎  
博一, 阿保順子, 佐久間えりか, 笹木弘美, 内田直  
子, 吉野賀寿美, 坂江千寿子, 佐藤寧子, 岡田実  
訳: 看護診断にもとづく精神看護ケアプランー第2  
版 医学書院 2007年3月

(2) 論 文

- 1) 八木こずえ, 鈴木麻記子, 坂井美加子, 北村育子,  
阿保順子: 統合失調症患者の早期退院後における自  
我強化の過程とかかわり(第3報)－思春期の発達  
課題を抱えていたA子さんのケース－ 北海道医療  
大学看護福祉学部学会誌 49-51 3 (1) 2007
- 2) 阿保順子: 統合失調症の人々の看護はどこまでわかつ  
ってきたか 精神医療 67-74 47 2007

(4) 学会発表

- 1) 八木こずえ, 鈴木麻記子, 坂井美加子, 北村育子,  
煤賀隆宏, 喜多陽子, 阿保順子: 統合失調症患者の  
早期退院後における自我強化の過程とかかわり(第  
4報)－ライフサイクル上の出来事を乗り越えたC  
氏のケース－第4回北海道医療大学看護福祉学部学  
会学術集会
- 2) 吉野賀寿美: 精神科外来における社会復帰プログラ  
ム実施の効果<A氏の経過分析から>, 北海道医療  
大学看護福祉学部学会第4回学術大会, 札  
幌, 2007.
- 3) 近田真由美: うつ病回復者の「生き方」の転換－  
「状況構成」という視点から－, 日本精神保健看護  
学会, 2007.
- 4) 近田真由美: うつ病回復者の「生き方」の転換－  
「状況構成」という視点から－, 日本うつ病学会  
2007.
- 5) 近田真由美: うつ病回復者の「状況構成」の変化の  
特徴－職場の対人関係からの撤退は何を意味するか  
－, 北海道医療大学学部学会, 2007.

(5) 講 演

- 1) 阿保順子: 認知症高齢者の世界－虚構を生きる：第  
49回日本歯科理工学会学術講演会・第25回日本接着  
歯学会学術大会
- 2) 阿保順子: 境界性人格障害と呼ばれる人々の看護Ⅰ  
・Ⅱ：日本精神病院協会北海道支部看護部長会主催

- 3) 阿保順子: 認知症の人々が創り上げている生活世  
界：第7回日本音楽療法学会学術大会

(6) 社会活動

- 1) 吉野賀寿美: NPO法人こころ理事
- 2) 近田真由美: 「NPO法人こころ」理事兼スタッフ

## 母子看護学講座

教 授: 斎藤いづみ, 三国 久美

准教授: 伊藤 道子

講 師: 遠藤紀美恵, 梶谷亜希子

助 教: 木浪智佳子, 萬 美奈子

(母性看護学)

(1) 著 書

- 1) 斎藤いづみ: 臨床現場で活きる看護経済学, 看護管  
理学習テキスト第2版6巻, 133-148, 日本看護協  
会出版会, 2007.
- 2) 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護 VOL. 1 妊  
婦の健康診査と保健指導 妊娠初期, 医学映像教育  
センター, 2007. (看護教育シリーズVTRからDVD  
に改定)
- 3) 梶谷亜希子, 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護  
VOL. 2, 妊婦の健康診査と保健指導 妊娠中期, 医  
学映像教育センター, 2007. (看護教育シリーズVTR  
からDVDに改定)
- 4) 笹木葉子, 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護  
VOL. 3 妊婦の健康診査と保健指導 妊娠末期,  
医学映像教育センター, 2007. (看護教育シリーズ  
VTRからDVDに改定)
- 5) 遠藤紀美恵, 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護  
VOL. 4 分娩経過のアセスメントと看護 入院時  
の健康診査, 医学映像教育センター, 2007.
- 6) 伊藤道子, 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護  
VOL. 5 分娩経過のアセスメントと看護 分娩進  
行の観察とサポートイブケア, 医学映像教育センタ  
ー, 2007.
- 7) 笹木葉子, 斎藤いづみ監修: 目で見る母性看護  
VOL. 6 分娩経過のアセスメントと看護 分娩第  
1期から4期の看護実践, 医学映像教育センタ  
ー, 2007.

(2) 論 文

- 1) 斎藤いづみ, 遠藤紀美恵, 伊藤道子, 西 基, 笹  
木葉子, 三上 愛: 時刻別・曜日分析による分娩時

- の安全に関する基礎研究, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 3, 37–39, 2007.
- 2) Izumi Saito : Evidence based staffing (midwives and nurses) for safety birth. Journal of perinatal medicine, 35, 296–297, 2007.
  - 3) 伊藤道子：妊娠期から産褥期までの女性の心理・社会的状態とソーシャルサポート, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 第13号, 1 – 9, 2006
- (3) その他の論文
- 1) 斎藤いずみ：カナダの看護学教育における大学院教育と研究体制 アルバータ大学とトロント大学の事例から, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 13, 65 –69, 2006.
  - 2) 斎藤いずみ：産科領域を中心とした看護人員配置に関する基礎研究 北海道医療大学個体差科学研究所研究プロジェクト採択研究成果報告書 2005–2006 114–115, 2007.
  - 3) 斎藤いずみ：看護職員配置の違いにおける医療の安全と質に関する経済的検証, ノーステック財団 平成18年基盤的研究開発育成事業（研究開発シーズ育成補助金）報告書, 2007.
- (4) 学会発表
- 1) 斎藤いずみ, 遠藤紀美恵, 伊藤道子, 西 基, 梶谷亜希子, 笹木葉子, 三上 愛：曜日別・時刻別分析を基盤とする分娩データの分析－分娩の集約化構想をより安全に実施するための基礎資料－, 第36回北海道母性衛生学会, 2006年10月, 札幌.
  - 2) 斎藤いずみ, 伊藤道子, 遠藤紀美恵：分娩第1期から分娩第4期における看護行為と看護時間の分析, 北海道医療大学看護福祉学部学会第4回学術大会, 2007年9月, 札幌.
  - 3) Izumi Saito : Evidence based staffing (midwives and nurses) for safety birth. 8th World Congress of Perinatal Medicine, Florence, Italy, 2007, 9
- (5) 講 演
- 1) 斎藤いずみ：実践に役立つ看護研究, 釧路労災病院看護部主宰講演会, 2006年10月.
- (6) 社会活動
- 1) 斎藤いずみ：第36回北海道母性衛生学会 第2群座長 2006年10月.
  - 2) 斎藤いずみ：看護をデータ化する試み, 砂川市立病院看護部長会研修講師 2007年1月.
  - 3) 斎藤いずみ：看護研究発表会講評, 釧路労災病院看護部看護研究指導, 2007年2月.
  - 4) 斎藤いずみ：認定看護師, 平成18年北海道厚生局臨床指導者講習会講師, 2007年7月.
  - 5) 斎藤いずみ：専門看護師, 平成18年北海道厚生局臨床指導者講習会講師, 2007年7月.
  - 6) 斎藤いずみ：助産師・看護学研究者として体験したカナダ, 北海道医療大学看護福祉学部, JICAおよび海外派遣研究報告会, 2007年7月.
  - 7) 斎藤いずみ：看護師のイメージが変わります 看護学の最前線, 八雲高校講義 2007年8月.
  - 8) 斎藤いずみ：専門看護師（母性看護）とは, 伊達赤十字病院看護部講師, 2007年8月.
  - 9) 斎藤いずみ：専門看護師（母性看護）とは, NTT東日本札幌病院看護部講師, 2007年8月.
  - 10) 斎藤いずみ：認定看護師の役割と認定看護師への道, 北海道看護協会第3支部研修講師, 2007年9月.
  - 11) 伊藤道子：厚生労働省北海道厚生局主催 平成19年度保健師助産師看護師実習指導者講習会講師, 母性看護学, 2007年6月
  - 12) 梶谷亜希子：平成19年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師, 滝川市, 2007, 8 – 9.
  - 13) 梶谷亜希子：平成18年度札幌大谷高等学校「性教育」講師, 札幌, 2006, 12.
  - 14) 梶谷亜希子：北海道医療大学, 第17回オープンカレッジ, 「いのちと性」, 2007, 4.
- (小児看護学)
- (1) 著 書
- 1) J.J. シリラ, D.J. ウエザーストン編, 廣瀬たい子監訳, 白川園子, 園部真美子, 寺本妙子, 三国久美訳：乳幼児精神保健ケースブック, フライバーグの育児支援治療プログラム, 金剛出版, 2007, 6.
- (2) 論 文
- 1) 木浪智佳子：外来通院で緩和的化学療法を受けるがん患者の社会的側面への影響, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 3 (1), 15–20, 2007.
  - 2) 山本美佐子, 水島禮子, 堀込和代, 木浪智佳子, 萬美奈子, 三国久美：NICUに入院した子どもの母親の対児感情と母性意識の変化と特徴－入院時から退院後1年間における変化と満期産児の母親との比較－, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 3 (1), 7 –14, 2007.
  - 3) 平 紀子, 三国久美：保健師の情報ニーズと医療系大学図書館の役割, 医学図書館, 54 (2), 166–171, 2007.

### (3) その他の論文

- 1) 萬美奈子, 木浪智佳子, 三国久美, 山本美佐子: わが国における小児肥満予防と生活習慣に関する研究の動向, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 13, 51–58, 2006.

### (4) 学会発表

- 1) 平松真由美, 高橋 泉, 廣瀬たい子, 白川園子, 寺本妙子, 三国久美他: 乳幼児の睡眠覚醒リズム—経年変化と関連要因—, 第18回日本発達心理学会, 2007, 3月.
- 2) Omori, T., Teramoto, T., Hirose, T., Okamitsu, M., Mikuni, K. : Assessment of Japanese Parent-child Interaction with NCAT, The12th Biennial NCAST-AVENUE Institute, Seattle, 2007, 7.

## 成人看護学講座

### (1) 著 書

- 1) 佐々木栄子: 山田幸宏監修 疾患別看護過程セミナー「パーキンソン病」, 医学芸術社, 512–531, 2006.
- 2) 佐々木栄子: 心理社会的サポート, 危機管理の備え, 野並葉子編: 成人看護実習ガイドⅡ 慢性期, 回復期, 終末期, 照林社, 149–151, 2007, 3.
- 3) 唐津ふさ: I. 慢性期・回復期の看護技術 不確かさへのケア, 野並葉子編: 成人看護実習ガイドⅡ 慢性期・回復期・終末期, 照林社, 155–157, 2007, 3.
- 4) 西村歌織(翻訳協力): 頭頸部がん患者の看護ケア, 小島操子・佐藤禮子監訳: がん看護コアカリキュラム, 医学書院, 502–506, 2007, 2.

### (2) 論 文

- 1) 野川道子: 日本における入院患者の不確かさの認知に関する研究, 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士論文, 本文68頁+図表38頁, 2007.
- 2) 唐津ふさ, 野川道子, 西村歌織, 佐々木栄子: 神経難病患者の療養生活対処尺度の開発, 看護科学会誌, 27 (3), 39–47, 2007, 9.
- 3) 館山光子, 高橋章子: 救急看護師の役割と能力に関する研究—三次救急医療施設における新卒看護師の能力獲得の特色—, 日本救急看護学会雑誌, 8 (2), 58–66, 2007.

### (3) その他の論文

- 1) 野川道子: 難病と生きる体験—療養者の声から—, 日本難病看護学会誌, 11 (2), 123–128, 2006.
- 2) 野川道子: 7対1以下の看護学生の就職事情, 看護展望, 32 (4), 38–40, 2007.
- 3) 佐々木栄子, 松本昭久: 異常知覚を抱えて生活しているスモン患者の語り, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班報告書, 151–157, 2007, 3.
- 4) 館山光子: 救急現場の基本技術の枠組みと考え方—救急看護師に必要な能力と技術, EMERGENCY CARE, 20 (4), 24–30, 2007.

### (4) 学会発表

- 1) 野川道子: 入院患者の不確かさの認知と心理的適応のモデルの構築, 第1回日本慢性看護学会学術集会, 明石, 2007, 8.

### (6) 社会活動

- 1) 佐々木栄子: 札幌厚生病院 平成19年度臨床指導者研修 講師, 2007, 4.
- 2) 唐津ふさ: 平成19年度手稲済仁会病院看護部「臨床実習指導者講習会」講師, 2007. 8.
- 3) 唐津ふさ: 平成19年度手稲済仁会病院看護部「看護研究」講師, 2007. 5.
- 4) 唐津ふさ: 平成19年度保健師助産師看護師等実習指導者講習会「看護教育課程(成人看護学)」講師, 2007. 9.
- 5) 館山光子: 臨床研究指導, 手稲済仁会病院臨床指導者研修, 2006, 10~2007, 9
- 6) 館山光子: 平成19年度 北海道看護協会 学会委員
- 7) 館山光子: 平成19年度 日本看護協会 成人看護I抄録選考委員

## 臨床看護学講座

准教授: 川村三希子, 塚本 容子

講 師: 高橋 久江

助 教: 北村美奈子

### (1) 著 書

- 1) 川村三希子: オンコロジーエマージェンシー(高カリシウム血症)部分翻訳p318–323: 小島操子, 佐藤禮子監訳: がん看護コアカリキュラム, 医学書院, 2007

### (2) 論 文

- 1) Yoko Tsukamoto : Prevalence of diabetes mellitus and dyslipidemia among antiretroviral naïve patients co-infected with hepatitis C (HCV) and HIV-1 compared to patients without co-infection, Doctoral Dissertation, Stanford University Press, 2006.
- (3) その他の論文
- 1) 川村三希子, 竹生礼子, 小島悦子: 訪問看護師を対象とした在宅ホスピスケアに関する研究. 平成18年度笹川医学医療研究助成報告書, 2006
  - 2) 川村三希子: 再発後を生きる乳がん患者の生活と体験, 2006年安田記念医学財団報告書
  - 3) 川村三希子: エンド・オブ・ライフケアにおける Good Deathの検討 平成18年度科学研究費助成金(スタートアップ)研究成果報告書
  - 4) 塚本容子: 米国におけるサーベイランスデータ:一般公開の動きとその影響, Infection Control, Vol. 16 (2), 171-172.
  - 5) 塚本容子: 緩和ケア病棟におけるAIDS患者受け入れの現状, 平成18年度笹川医学医療研究助成報告書, 2007.
  - 6) 塚本容子: HIV患者のアドヒアラنسの現状, 平成18年度科学研究費補助金(若手研究)研究成果報告書
- (4) 学会発表
- 1) 小島悦子, 川村三希子, 竹生礼子, 福田ひとみ: 訪問看護師の在宅疼痛マネジメントに関する知識の実態. 第21回日本がん看護学会, 2月, 東京
  - 2) Mikiko Kawamura, Yoko Tsukamoto, Yukiko Sasaki: Good Death for Hospice Nurses in Japan. 10<sup>th</sup> Congress of the European Association for Palliative care. June 7 - 9. Budapest, Hungary
  - 3) 川村三希子, 竹生礼子, 小島悦子, 福田ひとみ, 柳谷幸枝: 訪問看護師に対する効果的ながん性疼痛マネジメントの教育プログラムの検討～講義とコンサルテーション活動を組み合わせた教育プログラムの効果 第12回日本緩和医療学会, 6月, 岡山
  - 4) 竹生礼子, 川村三希子, 小島悦子, 福田ひとみ, 柳谷幸枝: 訪問看護師に対する効果的ながん性疼痛マネジメントの教育プログラムの検討～実践に役立てるよう検討した講義の評価～. 第12回日本緩和医療学会, 6月, 岡山
- (5) 講演
- 1) 川村三希子: 「緩和ケアにおける看護師の教育の現状と課題」札幌医大緩和ケアを考える会11月17日
  - 2) 川村三希子: 札幌ホスピス緩和ケアネットワーク. 在宅ホスピスケアにおける訪問看護師の教育
  - 3) 川村三希子: ホスピスケアにおける臨床倫理. 北広島病院 7月
  - 4) 塚本容子: 医療従事者が知りたい鳥インフルエンザ, 国立札幌南病院, 2006年10月
  - 5) 塚本容子: 概念分析, 札幌医科大学, 2006年11月
  - 6) 塚本容子: APIC学会におけるサマリーセッション, 2007年7月
- (6) 社会活動
- 1) 川村三希子: 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業: がん対策のための戦略研究: がん対策のための戦略研究臨床教育プログラム委員
  - 2) 川村三希子: 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業: がん対策のための戦略研究: 普及啓発プログラム委員
  - 3) 川村三希子: 平成19年度 北海道専門分野(がん・糖尿病)看護師育成検討会 委員
  - 4) 川村三希子: 日本ホスピス緩和ケア協会北海道ブロック大会 シンポジウム座長. 5月, 札幌
  - 5) 川村三希子: 緩和ケアの実践に必要なオピオイド鎮痛薬の薬物動態. 座長, 9月. 札幌
  - 6) 川村三希子: 日本ホスピス緩和ケア協会 教育セミナー 10月13, 14日札幌
  - 7) 川村三希子: 札幌ホスピス緩和ケアネットワーク コンサルテーション事業 6月～
  - 8) 塚本容子: UNAIDSにおいてのAsia Pacific Regionの外部コンサルタント

## 大学院担当

教 授: 石垣 靖子

(3) その他の論文

- 1) 石垣靖子: 病院ボランティア活動の基本的な考え方とその実際, 「医療」 Vol. 61 No. 4 (268-270), 2007
- 2) 石垣靖子: 新人看護職員研修考え方との展開 第11回日本看護サミットひろしま開催報告書, 54-60 2007 (3)
- 3) 石垣靖子: 意思表示ができない患者の治療方針の決定をめぐって, 「看護」 日本看護協会出版会 Vol. 59 No. 2 (40-41) 2007 (2)
- 4) 石垣靖子: ふれあうというケア, 「家族看護」, 日本

- 5) 石垣靖子：「真実の瞬間：石垣靖子から主任への手紙」，「主任 and 中堅」，Vol. 17, No. 1 (47-50), 日総研, 2007 (9)

(4) 学会発表

- 1) 萩原邦子, 石垣靖子：「生体肝ドナーとして世帯を持つ同胞が、肝臓提供を決定した意思決定プロセスとそれに影響する要員の探索」第26回日本看護科学学会 2006. 12 神戸  
2) 石垣靖子「診療報酬につながるがん看護ケア、技術に関する調査」第21回日本がん看護学会学術集会, 2007. 2. 10, 東京  
3) 濱口恵子, 石垣靖子「わが国の外来化学療法に関するケア・システムの現状」第21回日本がん看護学会学術集会, 2007. 2. 10, 東京  
4) Kumi Suzuki, Yasuko Ishigaki : [A survey of current ambulatory cancer chemotherapy in Japan], 2<sup>nd</sup> International Cancer Conference, 2007. 2. 11, Tokyo  
5) 濱口恵子, 石垣靖子「日本における外来化学療法看護の現状と課題」, 日本臨床腫瘍学会, 2007. 2. 24, 札幌

(5) 講演

- 1) 石垣靖子：「最新の医療における<生命・いのち>の問題—ケアの現場から」, 武蔵女子短期大学共通教養科目講義, 2006. 10. 6  
2) 石垣靖子：看護管理学集中講義, 三重大学大学院医学部看護学科, 2007. 10. 9-11  
3) 石垣靖子：「がん患者への全人的ケアスピリチュアルケア」大阪大学看護キャリア開発コース, 2006. 10. 14  
4) 石垣靖子：「がん医療における看護の役割」鹿児島県がん看護研究会学術講演会, 2006. 10. 21, 鹿児島市  
5) 石垣靖子：「看護論」, 平成18年度国立病院機構北海道東北ブロック看護師等実習指導者講習会, 2006. 10. 30, 仙台  
6) 石垣靖子：「物語られるいのちに光をあてて—ホスピスケアの実践から—」金沢大学医学展, 特別講義, 2006. 11. 4, 金沢  
7) 石垣靖子：「がん患者の理解—心理的特徴—」, 北海道がんセンターがん看護研修, 2006. 11. 13, 札幌  
8) 石垣靖子：「人間として尊重すること—アドボケートとしてのナースー」, 遠軽厚生病院看護部研修会, 2006. 11. 18  
9) 石垣靖子：新人看護職員の臨床実践能力の向上に關

する講習会」東北厚生局, 厚生労働省, 2006. 11. 21 盛岡

- 10) 石垣靖子：「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する講習会」近畿厚生局, 厚生労働省, 2006. 12. 13. 14  
11) 石垣靖子：「日常の医療の場に臨床倫理を定着する」, 臨床倫理ベーシックin 札幌Ⅱ, 東北大学清水研究室主催, 2006. 12. 10, 札幌  
12) 石垣靖子：「患者を人間として尊重する」, 旭川赤十字病院看護部研修会, 2006. 12. 22  
13) 石垣靖子：「臨床倫理」, 神奈川県看護協会認定看護師研修・ホスピスケア, 2007. 1. 20, 横浜  
14) 石垣靖子：「看護基礎教育の充実に向けて」, 平成18年度看護教員養成講習会特別講義, 2007. 1. 22, 札幌  
15) 石垣靖子：「医療の質と臨床倫理」, 済生会兵庫病院, 2007. 1. 25, 神戸  
16) 石垣靖子：「人間として尊重すること」兵庫県看護協会神戸中部支部研修会, 2007. 1. 26, 神戸  
17) 石垣靖子：「医療の質と臨床倫理」, 岩見沢市立総合病院, 2007. 2. 14, 岩見沢  
18) 石垣靖子：「看護専門職論・臨床倫理」北海道看護協会認定看護管理者ファーストレベル講義, 2007. 1. 31, 札幌  
19) 石垣靖子：「アドボケートとしてのナース」, 西札幌病院附属看護学校卒業記念講演, 2007. 3. 2 札幌  
20) 石垣靖子：「終末期医療・尊厳ある死の医学」, 日本医学会総会シンポジウム, 座長, 2007. 4. 7, 大阪  
21) 石垣靖子：「アドボケートとしてのナース」, 北里大学保健衛生専門学院特別講演会, 2007. 4. 21, 浦佐  
22) 石垣靖子：「看護が担う社会的な役割」, 診療報酬と看護の質研修会, 日本看護協会神戸研修センター, 2007. 5. 11, 神戸  
23) 石垣靖子：「一般病棟での緩和ケアを考える—在宅ケアとの連携—」, 山田赤十字病院, 2007. 6. 16, 伊勢市  
24) 石垣靖子：「看護論 ターミナルケア」, 平成19年度保健師助産師看護師実習指導者講習会, 北海道厚生局, 2007. 6. 19  
25) 石垣靖子：「ホスピスケア総論」, 日本看護協会看護研修センターホスピスケア学科, 2007. 6. 28, 清瀬  
26) 石垣靖子：「看護専門職論：臨床倫理」, 平成19年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程研修会,

- 青森県看護協会, 2007. 7. 4, 青森
- 27) 石垣靖子：「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会より」, 平成19年度保健師助産師看護師実習指導者講習会特別講義, 北海道厚生局, 2007. 7. 17
  - 28) 石垣靖子：平成19年度新人看護職員研修責任者講習会, 厚生労働省, 2007. 8. 1. 2, 東京
  - 29) 石垣靖子：「専門職としての看護」, 平成19年度第2回看護研究会, 岡山県病院協会, 2007. 8. 3, 岡山
  - 30) 石垣靖子：「看護基礎教育の充実—カリキュラム改正の経過と具体的な運用について—」, 厚生労働省看護研究研修センター同窓会北海道支部講演会, 2007. 8. 4, 札幌
  - 31) 石垣靖子：「がん治療に関する最新知識と看護の実際」, 平成19年度専門領域がん患者の看護研修会, 青森県看護協会, 2007. 8. 22, 青森
  - 32) 石垣靖子：「臨床倫理」神奈川県看護協会認定看護師ホスピスケア学科, 2007. 8. 29, 横浜
  - 33) 石垣靖子：「看護を学ぶ後輩に伝えたいこと」, 北里大学保健衛生専門学院特別講演, 2007. 8. 31, 浦佐
  - 34) 石垣靖子：「臨床倫理と組織文化」, 臨床倫理ベーシックセミナーⅢ in札幌, 東京大学清水研究室主催, 2007. 9. 1, 札幌
  - 35) 石垣靖子；「看護と倫理—日常業務で遭遇する倫理的問題とその対応ー」, 神奈川県看護協会, 2007. 9. 25, 横浜
  - 36) 石垣靖子：「倫理に基づいた看護の実践—その定着を目指してー」, 北海道看護協会札幌第3支部研修会, 2007. 9. 29, 札幌

#### (6) 社会的活動

- 1 ) 「看護基礎教育の充実に関する検討会」厚生労働省, 2006. 10-2007. 3 計10回
- 2 ) 石垣靖子：「生涯をとおして、最後までその人らしく」第45回全国自治体病院学会特別講演, 鹿児島, 2006. 10. 19
- 3 ) 石垣靖子：「ふれあいのなかで輝くいのち」, 北海道教育の日協賛事業, 心と命の教育講演会, 2006. 11. 1, 北海道札幌真栄高等学校
- 4 ) 石垣靖子「新人看護職員研修の考え方とその実際」, 第11回日本看護サミット広島, 分科会I, 2006. 11. 16, 広島
- 5 ) 石垣靖子：「ケアしケアされる在宅ホスピスケアとこれからの課題」, 第11回日本在宅ケア学会分科会I座長, 2007. 3. 3. 4, さいたま

- 6 ) 石垣靖子：「患者中心の医療と看護」, ホスピスケア市民講座平成19年度第1回講演会, 2007. 4. 14, 札幌（一般市民対象）
- 7 ) 石垣靖子：「つながりのなかで輝くいのち」, 第18回講話会京都, ユーキャン出版会, 2007. 3. 30, 京都（一般市民対象）
- 8 ) 石垣靖子：「人としての生と死」第33回日本看護研究学会学術集会, シンポジウム座長, 2007. 7. 29, 盛岡
- 9 ) 石垣靖子講話集全12巻 (CD, カセットテープ) および副読本 ユーキャン出版, 2007. 9